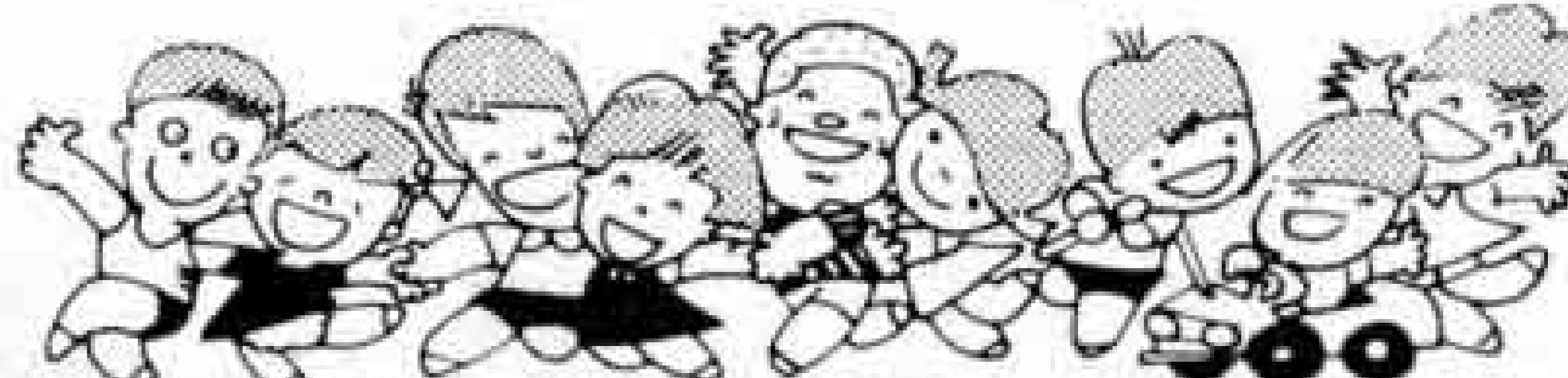




暮らしのたより



保健だより

問い合わせ先
健康課 内線2440
2441

1歳6ヵ月児健康診査 (13:30~15:00)

ところ	とき	該当児
市立体育館	10月23日(木)	60年3月生まれ
"	10月30日(木)	"
勤労者会館	10月24日(金)	"

※もちもの 母子健康手帳、通知書

3歳児健康診査 (13:30~15:00)

ところ	とき	該当児
市立体育館	10月8日(木)	58年9月生まれ
富士保健所	10月17日(金)	"
勤労者会館	10月15日(木)	"

※もちもの 母子健康手帳、通知書

10月のお母さん教室

☆とき 9日(木)、16日(木)、23日(木)
13:00~15:30

☆ところ 市役所10階会議室

☆もちもの 母子健康手帳、筆記用具

離乳食講習会 (9:00~11:30)

ところ	とき	該当者
富士公民館	10月23日(木)	生後2~5ヵ月の第一子をもつ母親や祖母
原田公民館	10月30日(木)	
富士見台公民館	10月15日(木)	

※もちもの 母子健康手帳、筆記用具

犬の引取日

不要犬の回収作業は各会場10分間です。時間は到着時間です。愛犬手帳をお持ちください。

◎10月7日(火)、21日(火)

吉永公民館9:30、富士見台公民館9:55、大淵公民館10:20、鷹岡公民館11:45、広見公民館13:10、市立体育館13:35

◎10月14日(火)、28日(火)

元吉原公民館9:20、田子浦公民館9:45、富士公民館10:10、岩松公民館10:35

子宮ガン検診

—9~10月は子宮ガン検診強化月間—
女性のガンで5番目に多い子宮ガンは、30歳からがガン年齢で、さらに更年期を過ぎると、かかる人は大変多くなります。早期発見ではほぼ100%治りますが、早期では自覚症状がないので、症状をあてにしていると手おくれになりかねません。そこで、子宮ガンの早期発見には年1回の子宮ガン検診を定期的に受けることが必要です。

昨年、富士市では、4,569人の方が子宮ガン検診を受け、子宮ガンは4人(50歳代1人、60歳代1人、70歳代2人)発見されました。

☆子宮ガン検診は

- ・対象年齢 市内の30歳以上の女性
- ・自己負担金 800円(検診料金4,000円のうち)
- ・市内の産婦人科病・医院で実施しています。集団検診については、各病

医院または婦人会にご相談ください。
☆「正しい知識で子宮ガンを防ごう」
講演会のお知らせ

10月から11月にかけて、吉原、元吉原、駅北、富士南、田子浦、天間の6地区で、子宮ガンについての講演会を開きます。講師には市医師会の先生方をお願いしました。

日程等の内容は、後日回覧でお知らせしますので、みなさんお誘い合わせでご参加ください。

問い合わせ先 健康課 内線2445

10月の献血

とき	場所	時間
3日(金)	鷹岡公民館	9:30~15:30
4日(土)	原田公民館	9:30~12:00
5日(日)	神戸公民館	9:30~15:30
11日(土)	吉永農協裏	9:30~12:00
16日(木)	市役所西口	9:30~15:30
18日(土)	伝法公民館	9:30~12:00
21日(火)	東田子の浦駅	9:30~10:30
	大野町農協支所	11:00~12:00
	浜町公園前	13:00~14:00
	吉原駅北口	14:30~16:00
22日(水)	広見町商店街駐車場	9:30~15:30
25日(土)	富士駅前	10:00~16:00



☆国立音楽大学同調会
オータムコンサート

10月24日(金) 18:30~

富士文化センター、問い合わせ先 ☎71-5927 杉山美彌子・☎0544-27-1788 赤池よし子 ☆富士希更山の会バスハイク 10月26日(日)、山梨県西沢溪谷、連絡先☎63-1096 大竹美津子・☎61-9245 川久雅弘 ☆中国語学習会会員募集 10月8日から富士文化センターで。会費は月3,000円。申し込み先 ☎71-9223 佐々木陽子

健康コーナー

老人の骨折



寿命が延びお年寄りがふえるにつれ、老人の骨折もふえています。年をとると骨がもろくなり、ちょうど枯木が折れるような折れ方をします。その上、お年寄りは若い人よりも筋肉の衰えが早いので、関節の動きも悪くなります。そして、時には内臓の動きが弱って余病が出たり、精神的にも落ち込んでいきます。ですから、今はお年寄り向きの特殊な治療法がいろいろ工夫されています。お年寄りに多い骨折をいくつかあげてみましょう。

1) 脊椎圧迫骨折 ちょっと転んだり、しりもちをついたぐらいで脊椎(背骨)の一部が押しつぶされるように折れる骨折で、安静にし、コルセット等で支えてやれば症状もすぐ軽くなり、2、3ヵ月で骨は固まります。

2) 大腿頸部骨折 大腿(ふともも)のつけ根の部分での骨折です。老人のこの部分の骨も折れやすく、横倒しに転んだときなどよく起きます。以前は厄介な骨折の一つでしたが、今では人工関節に置きかえたり、金属を使って固定する手術法等が行われています。

3) 前腕骨骨折 転んで手をついたときなどに起こる手首の部分での骨折です。大部分はギプス固定ぐらいで手術などしなくて治ります。

以上、いずれも老人の骨がもろいた

めに起きる骨折ですから、転ばぬ先の杖という考え方で、予防が第一です。不幸にして、転んで骨折かと思うときは、直ちに専門医に受診し、きちっとした治療をすれば、高齢者でも、日常生活が十分できるように回復することが期待できます。〈富士市医師会〉

レター通信

高い熱を出す夏かぜの流行は、まだまだ続いていますが、以前よりは大分少なくなってきました。夏は暑いせいやおとなしくしていないので、病気を長引かせたり、悪化させたりの原因となっています。病気の治療の基本は、安静と栄養と保温であることを忘れないようにしてください。今夏は、髄膜炎の発生が少ないようでした。